

# 洪水に対する避難体制等の充実・強化

## 課題

近年、洪水により、現在の想定を超える浸水被害が多発



H26.8避難所2階の浸水  
(徳島県)

## 方向性

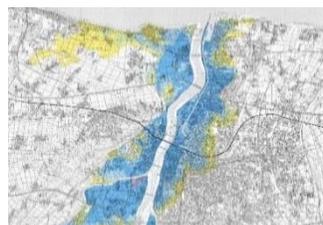
想定し得る最大規模の洪水に対する避難体制等の充実・強化

## 対応

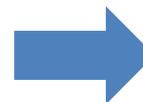
水防法改正 (H27.5.20公布、H27.7.19施行)

○ 現行の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表

(現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域)



河川整備において基本となる降雨を前提



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

想定し得る最大規模の降雨による洪水に対する避難確保・被害軽減

- 洪水による浸水区域、浸水深とあわせて、以下の事項も公表
  - ✓ 家屋倒壊等氾濫想定区域
  - ✓ 浸水継続時間(長時間にわたり浸水するおそれのある場合に限る)
- これらの情報と想定浸水深から、洪水時に水平避難が必要な区域・垂直避難が可能な区域を判定

- 想定最大規模降雨は発生頻度がきわめて小さいことから、企業等が洪水によるリスクを適切に把握し、適切な対応の検討や、市町村長の避難勧告発令判断基準策定の検討を支援するため、計画規模降雨の洪水浸水想定区域も公表

# 家屋倒壊等氾濫想定区域

## ○家屋倒壊等氾濫想定区域設定の必要性

洪水時に家屋が流出・倒壊等のおそれがある範囲で、洪水時における屋内安全確保(垂直避難)の適否の判断等に用いる

### 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

- ・ 河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

### 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

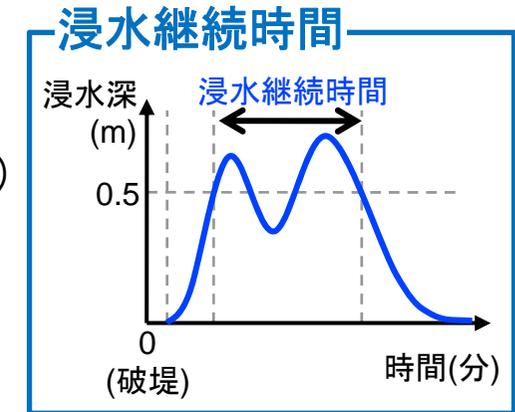
- ・ 洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域



# 浸水継続時間

## ○浸水継続時間

- 浸水継続時間は、洪水時に避難が困難となる一定の浸水深を上回る時間の目安を示すものであり、立ち退き避難（水平避難）の要否の判断や企業等の自衛水防に有効な情報となる。
- 長時間にわたり浸水するおそれのある場合※に公表。  
※ 浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する場合



イメージ

凡 例

浸水継続時間（浸水深0.5m以上）（ランク別）

~12時間未満の区域
12時間 ~24時間（1日）未満の区域
24時間（1日） ~72時間（3日）未満の区域
72時間（3日） ~168時間（1週間）未満の区域
168時間（1週間） ~336時間（2週間）未満の区域
336時間（2週間） ~672時間（4週間）未満の区域

--- 市町村界

 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

